

MDJ プレスリリース

## MEDICAL FAIR THAILAND 2017

ファイナルレポート



### **8 回目の開催となったバンコクでのメディカル・フェアは今回も過去最大規模での開催を記録**

- ・ 隔年開催の同展の来場者数は前回比 25%の増加で活発な商談が行われた
- ・ 18 のナショナル・パビリオンのうち、5 か国が初出展で国際性も更に向上
- ・ 出展 830 社のうち、日本からは 80 社が出展し、信頼度の高い日本ブランドで商談

メディカルとヘルスケアの専門見本市である MEDICAL FAIR THAILAND は、9 月 6 日～8 日の 3 日間、バンコクのクイーン・シリキット・ナショナル・コンベンション・センター(QSNCC)にて過去最大数の出展者、来場者を集めて開催された。同展には 66 か国から 830 の出展者、18 のナショナル・パビリオンの出展参加、また 9,000 名を超える質の高い来場者が 70 か国から参加した。

8 回目の開催となった MEDICAL FAIR THAILAND 2017 は東南アジアにおける魅力的で国際性の高い、ヘルスケア製品ショウケースとして認知され、多数の新製品、イノベーティブな製品が出展された。会期中には業界関係者のネットワーキングやビジネス・マッチングも活発に行われ、主催者が提供した無料マッチング・サービスでは 13,000 ものミーティング・リクエストが寄せられた。また会期中の関連コンファレンスやセミナーにも 3 日間で約 650 名の参加者のもと開催された。

主催者メッセ・デュッセルドルフ・アジアの発表によると今回の MEDICAL FAIR THAILAND は多数のイノベーティブな製品出展や、意思決定権の来場と併せ、様々な記録更新の開催となり、メディカル産業が成長する東南アジアにおいて高い貢献度を示した。来場者は前回の 2015 年より 25%増加し、全体の 33%はタイ国外からの来場であった。これらはエリアのヘルスケア関係者の同展への関心の増加を示している。

来賓として同展を今回も訪問したタイの工業大臣、アッチャカー・シーブンルアン博士は、MEDICAL FAIR THAILAND を高く評価した。同国の成長産業である医療産業やメディカル・ツーリズムはタイ経済を牽引する一部であり、タイからの参加企業が増えていることはそれを裏付けているとコメントした。

同展の特徴でもある国際性の高さも多数のナショナル・パビリオンの参加によって更に増加した。今回は EU やインドなどの初のパビリオン出展を含め、18 の国とエリアのナショナル・パビリオンが設置され、タイや東南アジアの病院関係者、ディストリビューターの関心を集めた。

日本からの出展者は前回の 31 社から 80 社へと急増し、東南アジアのメディカル・マーケット参入への高い関心度が示され、会期中も日本製品の商談が活発に行われた。パビリオン出展もジェトロをはじめ、東京都中小企業振興公社や、神戸市の先端医療振興財団、大阪商工会議所、福島県、仙台市がパビリオンやグループとして出展した。

今回のパビリオンに出展に関し、ジェトロは次のようにコメントしている。

「日本館は国別パビリオンの中でも会場入口付近の最も目立つところに位置し、タイ、フィリピンなど ASEAN 諸国をはじめ、インド、バングラデシュなどからの大勢の代理店や病院関係者が来場。日本全国各地より 16 社が出展し、3 日間で 1,165 件の商談が行われ、即日成約も出るほど大盛況だった。出展企業より、「期待以上の集客があった」「新規市場進に向けて大きな足がかりとなった」「代理店候補と多数の商談ができた」などの評価があり、日本の医療技術・製品に大きな信頼を寄せる海外企業との商談に出展者は大きな手ごたえを感じていた」



シンガポールでのメディカル・フェアと合わせて 4 年連続のパビリオン出展となる東京都中小企業振興公社のコメント。

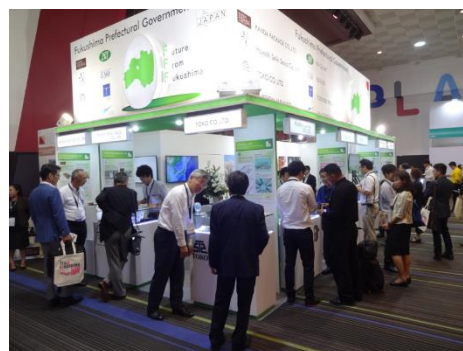


「昨年に比べ出展規模をほぼ倍増し、東京都の企業 10 社と共に出展した。開催国のタイはもとより、周辺諸国からの来場者もたいへん多く、メディカル分野における ASEAN 市場の注目度の高まりを肌で感じる 3 日間だった。各参加企業ブースも連日活況で、ディストリビューターやバイヤーとより具体的に一步踏み込んだ商談ができたとの報告を受けており、MEDICAL FAIR を足掛かりとした今後のビジネス展開を期待している」

初めてパビリオン出展の福島県のコメント。

「今回、県内企業 8 社と共に福島県として初めて“MEDICAL FAIR THAILAND”へ出展した。3 日間で 300 件を超える商談を実施し、日本製品の注目の高さを実感するとともに、

代理店候補や見積もり依頼など具体的な成果に繋がる展示会となった。本県ブースに出展した企業からも、「その後に繋がる展示会であった」と大変好評だった。医療機器市場が急速に拡大している ASEAN 地域の状況を直接確認することができ、県内企業の今後の販路の拡大にも繋がる有益な機会であった。是非次回の“MEDICAL FAIR ASIA”、“MEDICAL FAIR THAILAND”についても出展を検討したい」



また、単独出展にて椎間板、頸椎ヘルニアのレーザー手術用の特殊ファイバーとレーザー機を展示した株式会社ノリスメッド ジャパンは次のようにコメント。

「昨年のシンガポールの **Medical Fair Asia** に初出展し、シンガポール、インド、マレーシアそしてイギリスの販売代理店との契約に至りました。今回の出展でも可能性の高いタイの代理店候補が 4 件、他にも香港や

ベトナムなどの候補からも引き合いがあり、弊社製品の海外販売に手応えを感じています」

上記のように 8 回目の開催となった同展は、成約に結びつく商談展示会としての地位を確立しており、東南アジアにおける業界関係者参加必須のビジネス・プラットフォームに成長している。

今後の東南アジアにおけるメディカルとヘルスケアの専門見本市は、来年シンガポールで開催の [MEDICAL FAIR ASIA 2018](#) となり（会期：8 月 29 日～31 日）、次いでバンコクでの [MEDICAL FAIR THAILAND 2019](#) は規模拡大のため、会場を BITEC に移して開催される（会期：9 月 11 日～13 日）

MEDICA 主催・共催のメディカル・フェア：<http://www.world-of-medica.com>

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：服部

〒104-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 7F

Tel.03-5210-9951 Fax.03-5210-9959 / [mdj@messe-dus.co.jp](mailto:mdj@messe-dus.co.jp) [www.messe-dus.co.jp](http://www.messe-dus.co.jp)